

しこう  
今月の思考コーナー！

文化とは：

人類の理想を実現して行く、精神の活動。技術を通して自然を人間の生活目的に役立てて行く過程で形作られた、生活様式およびそれに関する表現。

-国語辞典（岩波書店）

1. 「日本文化」とは何ですか？
2. 世界中の国々の文化はなぜ違いますか？
3. 海外の文化を知るためにはどうすればいいですか？

地図	<a href="http://www.freelarge-images.com">www.freelarge-images.com</a>
ペルー	<a href="http://www.lacostanerarestaurant.com">www.lacostanerarestaurant.com</a>
チリ	<a href="http://www.chilchile.files.wordpress.com">www.chilchile.files.wordpress.com</a>
スペイン	<a href="http://www.cdn.fodors.com">www.cdn.fodors.com</a>
スイス	<a href="http://www.dfn.ilmkidunya.com">www.dfn.ilmkidunya.com</a>
ロシア	<a href="http://www.siberiantimes.com">www.siberiantimes.com</a>
エストニア	<a href="http://www.superradiance.co.uk">www.superradiance.co.uk</a>
デンマーク	<a href="http://www.janestreetclaywork.com">www.janestreetclaywork.com</a>

12月の答え：1) オーストラリアやニュージーランドに行けば暑いクリスマスを体験できます。（個人的にはニュージーランドがオススメです。オーストラリアほど暑くないし、海やビーチも十分楽しめます。）2) 南半球と北半球の季節の違いの原因は、地球の地軸が傾いていることにあります。回転の角度によって太陽から受ける熱と光の差が、季節の違いの原因です。3) 暑いクリスマスには、バーミンガムが欠かせないです。海やビーチも定番です。

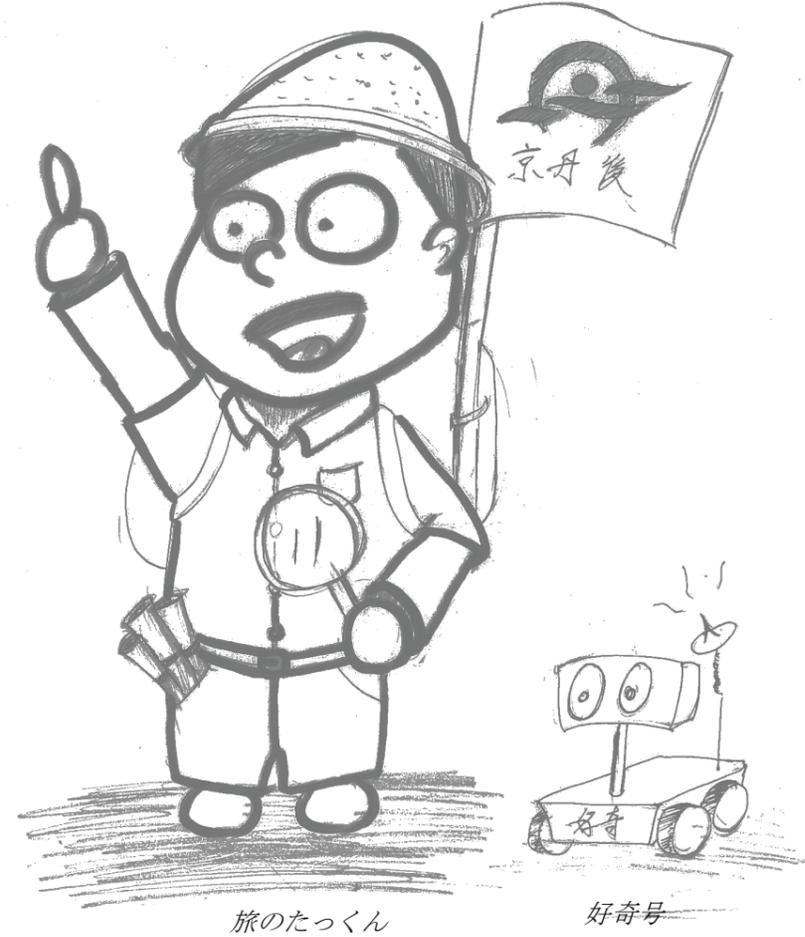


京丹後市教育委員会事務局  
学校教育課

平成31年1月 Vol.5

エイドリアン

旅を、世界に。



好

奇

号

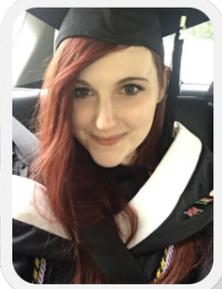
1

月

号

今日のスター:  
ジュリア・レンデル  
Julia Rendell

今月皆さんに紹介する人は、アメリカ合衆国のハワイ州出身のジュリア先生です。ジュリア先生は現在峰山中学校、いさなご小学校、長岡小学校、しんざん小学校で「ALT」として勤めています。旅が大好きなジュリア先生は、今年の5月にニューヨークの大学を卒業し、8月に京丹後市に来ました。ジュリア先生にインタビューしました。



卒業式のジュリア先生



ジュリア先生の好きな陶芸品



警備員のジュリア先生



陶芸をしているジュリア先生

● ジュリア先生はなぜ日本に来ましたか？

私は旅行が大好きで、色々な国に留学し、旅行をしてきました。大学の時は「アジア研究」と「日本語・日本文化」を勉強していました。日本が好きです。そして「JET」というプログラムを知り、即座に応募をしました。

● それで日本に来たわけですね。ジュリア先生は何か趣味はありますか？

そうですね。私は美術品が好きで、特に日本の陶芸品が好きです。今もそれを集めています。自分のコレクションの中のいくつかを、現在もアメリカの博物館に貸して展示しています。その他には、スキューバダイビングの資格を持っています。そして障害のある子どもたちのボランティア活動もしていました。

● すごいですね。博物館はお好きですか？

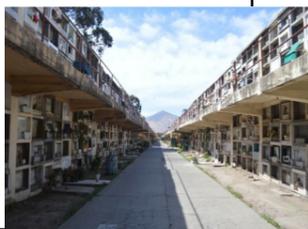
はい！好きです。博物館の警備員や図書館員、日本語書類のアーキビスト\*としてアルバイトをしたことがあります。その中の1つは、アメリカのマサチューセッツ州にある「第二次世界大戦国際博物館（International World War II Museum）」です。

● 戦争の真実を展示する博物館ですね。話が変わりますが、ジュリア先生の得意なことは何ですか？

私はオペラやクラシック音楽を歌うことに関して、専門的な訓練を受けていました。歌うのが大好きです。

● 機会があればぜひ披露していただきたいですね。今日はありがとうございました。

**チリ**  
チリのタルカという町の人々は、年明けに家ではなく、お墓で過ごす伝統があります。彼らによると、今は亡き愛しい人の近くで過ごすことが良い年につながるということです。



**ペルー**  
年末にペルーのクスコ県に恐ろしい祭りがあります。「タカナクイ」という「けんか祭」が開かれ、少年から成人までの男子が対面で格闘します。男たちは仮面を被り、一年中に起こったもめごとを殴ったり、蹴ったりして解決しようとします。（良い子は人を殴ったり蹴ったりしてはいけませんよ！）



**デンマーク**  
元旦の朝に起きて玄関のドアを開けた時、目の前に割れたお皿がたくさん散らばっていたらどう感じますか？デンマークの人はすごく嬉しく感じます。彼らは大晦日に友達や近所の家のドアにお皿を投げて割ります。割れたお皿が多ければ多いほど良い年になると言われています。



**エストニア**  
食べるのが大好きなあなたにオススメの場所があります！エストニアの年明けは何回も食事をする習慣があります。その日のうちに7、9、最大で12回の食事をします。7、9、12の数字はラッキーナンバーだと言われ、良い年になりますようにという願いがこめられています。



**ロシア**  
ロシアにあるシベリアでは、クリスマスの時に飾り付けられたクリスマスツリーを年明けに川底に植えます。そしてそのツリーを「年明けの木（New Year's Tree）」と名付けます。驚くことは、機械ではなくダイバーが冷たい川に潜り、その作業を行うことです。



# 面白い世界のお正月と年末！

**スペイン**  
時刻が0時を回るころに、スペインの人々は12粒のぶどうを食べる習慣があります。1粒

のぶどうが一月を意味し、そのぶどうを食べることでその年が良い年になりますようにと願います。この習慣は、1909年のスペインで大豊作があって、当時の王様が人々にぶどうをあげたことに由来しています。



**スイス**  
アイスは好きですか？もしアイスを食べようとしたけど、うっかり落としてしまったらどう思いますか？スイスの人々は年明けにわざとアイスを床に落とします！アイスを落とすことによって、その年に運・金運がありますように、また平和でありますようにという願いがあります。



\*アーキビスト：永久保存価値のある情報を査定、収集、整理、保存、管理し、閲覧できるように整える専門職のことです。